

## 第 10 回全国学生英語プレゼンテーションコンテスト 2次予選 オンライン開催に関するガイドライン

※Ver.1 からの変更点は赤字で表示されています。

### 1. 2次予選開催概要

- 2次予選は、2021年11月20日(土)にオンライン(Zoom)で開催となります。
- 2次予選では、プレゼンテーションを行う際に、PCでZoomに接続し、自分たちにカメラを向けてビデオをオンにするのと同時に、資料(パワーポイントやスライドなどの資料)の画面共有をして下さい。
- 制限時間10分を超過した場合は、得点が10%減点します。また、11分を超えると失格となります。プレゼンテーション後の質疑応答には、さらに5分ほど時間を取ります。

### 2. インターネットアクセス・接続機器について

- プレゼンターは2次予選に参加するために、適切な機器とインターネットアクセスを確保してください。
- 原則、1人1台の接続機器をご使用ください。接続機器はノートPCや、デスクトップPC(ウェブカメラとマイクの環境が整ったもの)の利用をお願いします。審査のため、パワーポイントやスライドなどの資料を使いZoom上で画面共有をする際、ビデオが消えてしまう(顔が映らなくなってしまう)接続機器のご利用はご遠慮ください。(※もし1人2台の機器で入る必要がある場合は、必ず事前に事務局へお問い合わせください。)
- チームで参加の場合は、どの接続機器で画面共有をするのか当日確認をします。もし、チームで同じ場所から参加する場合は、感染症対策に十分に注意を払ってください。
- 最低10Mbpsのインターネット接続速度を強くお勧めします。(PCのハードディスク容量に余裕がないと通信が不安定になる可能性があります。)右記インターネット速度テストサイト等を使い、速度の確認をお願いします。(例:<https://fast.com/ja/>)
- 2次予選には、事前にZoomのアカウントを作成し、Zoomのアプリケーションのダウンロードが必要です。ブラウザベースでの利用では、プレゼンテーションを共有するには不十分なので、ご注意ください。スムーズなプレゼンを行うためにも、コンテストの直前を含め、アプリケーションを定期的に更新することをお勧めします。Zoom：<https://zoom.us/jp-jp/meetings.html>

- プレゼンターは Zoom の機能に精通し、「ミュート」・「ビデオの開始」・「画面共有」などの機能を理解している必要があります。
- プレゼンターには 2 次予選の数日前に、事務局より Zoom のリンクがメールで送られます。Zoom に参加する時間や、当日のスケジュール等の詳細はこの時お伝えします。
- プレゼンターはコンテスト開始時間までに、リンク先の Zoom ミーティングに入る必要があります。開始予定時刻の 5～10 分前には、参加してください。
- MC (Zoom ホスト) が退出の許可を出す前に、プレゼンターは Zoom ミーティングを離れたりログオフしたりしないでください。

### 3. プライバシー・権利の侵害について

- プレゼンターは、Zoom リンクの情報を出場メンバー以外の他人と共有してはなりません。
- プレゼンターは、学校・大学の友人、家族、または教育関係者などを招待してプレゼンテーションを閲覧させることはできません。
- 2次予選で同じ Zoom ミーティングに入るのは、審査員、MC および同じ組で出場する他チームの出場者に限定されます。
- 2次予選での無断録音・録画は固く禁じられており、失格になる場合があります。
- 主催者 (Zoom ホスト) は、審査や今後のコンテストの運営のために Zoom ミーティングを録画します。
- 今回のコンテストが通信環境を使用したオンラインでの開催となること、また著作権等の問題から、プレゼンテーションに**音楽／動画を含めないことを強くお勧めします**。プレゼンテーションに含まれる写真、ロゴ、音楽、ビデオ、またはその他のメディアが作成者の著作権、肖像権、パブリシティ権等を侵害していないことを確認してください。有名なものは、ほぼ使用出来ないと考えてください。使用する場合は、著作権者等への許可が必要です。著作権等の侵害があった場合、本選には進めません。

【著作権等については以下のサイトをご参照ください】

※文化庁 著作権 <https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/>

※JASRAC 音楽著作権 <https://www.jasrac.or.jp/copyright/index.html>

## 4. オンラインでのプレゼンテーション方法について

- 姿勢：プレゼンテーションを行う際は、立っていても、座っていても構いません。ビデオの前では、適切な服装を心がけて下さい。
- カメラ：プレゼンターは、自分たちにカメラを向ける必要があります。
  - ・バーチャル背景を使用することは可能ですが、「無地の背景画像」または「ぼかし」のオプションのみ使用可能とします。
  - ・十分な明るさがある空間で行ってください。
  - ・プレゼンテーション全体を通して顔がはっきりと見えるようにしてください。
- マイク：事前に、きちんとマイクに声が届く距離なのか確認をして下さい。オンラインで何度か練習されることをお勧めします。市販のウェブカメラのなかには、画像は問題がなくとも、マイクの性能が低いものもあるので注意が必要です。マイクの機能を事前に調べ、十分な音声が審査員に伝わるように準備をしてください。
- 視聴覚教材（パワーポイントやスライドなどの資料）：視聴覚教材は、Zoom の「画面共有」機能を介してシェアする必要があります。プレゼンターの隣にプロジェクター/モニターなどを置き、カメラ越しに映し出すプレゼンテーションはできません。
- 音楽/動画：音声が入った自作動画を流す場合、zoom の設定によっては PC から流れる音声が相手に伝わらない場合があります。必ず事前に確認をしてください。
- プレゼンテーションが開始されたと同時に、プレゼンテーションのタイマーのカウントも始まります。
- タイムキーパーが、残り【1分】【30秒】のタイミングでお知らせします。

## 5. Zoom 利用のアドバイス

- アイコンタクト：プレゼンテーションは Zoom で配信されますが、プレゼンターがノートやメモなどを見ながら発表することはお勧めしません。カメラに向かってアイコンタクトをすることで、審査員により効果的に働きかけることができます。ノートなどの使用を最小限にするか、全く使用しないことで、よりスムーズで自然なプレゼンテーションが可能になります。
- ジェスチャー：プレゼンテーションは Zoom で配信されますが、ジェスチャーを使うと、アイデアを説明するのに効果的です。
- カメラの位置：カメラを目線の高さに保つと、審査員が表情を見やすくなります。プレゼンターは、カメラか

ら近すぎたり遠すぎたりしないようにする必要があります。プレゼンターの顔が画面の約40%を占めていれば十分です。

●発表する場所： 不要なバックグラウンドノイズ(窓からの生活騒音、ペットなど)を避けましょう。できるだけ静かな環境を確保してください。

●接続確認： コンテスト開始前に Zoom を起動させ、インターネットの接続、マイク、カメラなどのテストを行って下さい。

●機器： ヘッドセットまたはマイク付イヤホンを使用することで、声を明瞭にすることができます。

●時間： オンラインでのプレゼンテーションでは、通信障害など不測の事態が発生する可能性もありますので、発表の時間を10分未満にすることをお勧めします。

## 6. 技術的な問題に対応するために

●プレゼンテーション開始前に、MC、審査員とプレゼンターは、機器が正常に動作していること、接続が良好であることを一緒に確認します。

●予定された時間に接続できない場合は、当日の緊急連絡先(コンテスト事務局)に連絡して下さい。連絡先は後日、出場者にお伝えします。

●プレゼンテーション中にインターネット接続が完全に途切れた場合は、3分以内に再接続を試みることができます。何度繰り返しても同じ Zoom ミーティングに戻れない場合は、上記と同様、当日の緊急連絡先に連絡して下さい。

●コンテスト事務局は、以下のようなプレゼンター側の技術的な問題において、発表の機会を改めて確保することは約束できません。

⇒プレゼンターのカメラが映らない、またはマイクが入らない。他の発表者が見えない/聞こえない、プレゼンターの顔が見えない/聞こえない、音声が悪いなど。

●プレゼンテーション中に視聴覚教材(パワーポイントやスライドなどの資料)の画面が消えた(またはフリーズした)場合でも、MC はプレゼンテーションを停止しません。

●これらの問題が発生した場合、MC が規則に従い指示を出しますので、それに従ってください。

●ただし、カメラ・マイク・画面共有の問題が主催者(Zoom ホスト)側にある場合は、プレゼンターに確認し、

再度プレゼンテーションを開始してもらうことがあります。また、その状況が質疑応答の際に発生し、プレゼンターにきちんと質問が届かなかった場合、プレゼンターは MC に接続の様子を確認してもらうことができます。確認後、もう一度、審査員は質問を繰り返します。この場合質疑応答に関する延長時間は MC からお伝えします。

※今後、追加情報が出た際には、こちらのPDFを差し替えますので、逐次、コンテストホームページをご確認下さい。また、エントリーいただいた方には、最新情報を登録メールアドレス宛てにご連絡いたします。

October 29, 2021 ver.2

The 10th Annual All Japan Student English Presentation Contest

### ▼Detailed Guidelines: How to Take Part in the 2nd Round▼

#### 1. General Information

Date: **Saturday, November 20<sup>th</sup>**

Place: online (Zoom)

・At this time, presenters must use a computer to connect to Zoom, in order to both present their visual aids, and connect a live video of themselves to the contest, simultaneously.

・Time limit: Presentations which exceed 10 minutes will receive a 10% score reduction. Exceeding 11 minutes is disqualification. 5 additional minutes is allowed for questions after the presentation.

#### 2. Access Guidelines

・It is the responsibility of presenters to ensure that they have appropriate technology and internet access to take part in the second round of the competition.

・**In general, each participant will be allowed to connect using one device.** We ask that you use a laptop or PC (with webcam and microphone access) as your connected device. For judging purposes, please ensure that your device does not interrupt or end your main video feed (the video showing your face) when you screen-share. (\*If any one person needs to connect using two devices, please contact the Presentation Contest Secretariat Office in advance.)

・If you are participating as a team, Presentation Contest staff will confirm which device you will be using for screen-sharing on the day of the Contest. If your entire team will be presenting from one location, please use abundant caution and follow the government's infection prevention guidelines.

・Internet connection speed of 10Mbps, minimum, is strongly recommended. Using a device with limited space remaining on the hard disk may contribute to connectivity issues.

The following website can be used to check your connection speed: <https://fast.com>

・For the second round of the competition, presenters will need to have a Zoom account and the Zoom application downloaded onto their device; the browser-based form is insufficient for sharing a presentation. To ensure that the software runs smoothly, please update the Zoom software regularly through the date of the competition.

Zoom : <https://zoom.us/jp-jp/meetings.html>

・Presenters should be familiar with the Zoom telecommunication platform, and understand functions such as “mute”, “video on,” and “Share Screen.”

・Presenters will be given a Zoom link/information before the 2nd round, via email. This will include the specific time at which the presenter must join the Zoom meeting, and the time of their presentation.

・Presenters should be on time; they should join their presentation meeting 5-10 minutes before their appointment.

・Presenters must not leave the Zoom meeting or log off before the MC (chairperson・Zoom meeting host) verbally allows this.

### **3. Privacy / Copyright**

・Presenters must not share Zoom link/information with other parties.

・Presenters cannot invite friends, family members, or educators from their institution to view the presentation.

・2nd Round presentations will be private to the judges, MC and a small number of other entrants.

- ・Unauthorized recording of the 2nd Round is strictly prohibited, and may result in presenters being disqualified.

- ・In some cases, presentation organizers may wish to record a presentation, for internal purposes or score verification. Entrants' participation in the 2nd round, and your attendance in Zoom, means that you give permission to be recorded in this way.

- ・Due to the risk of copyright infringement, we strongly advise that presenters do NOT include any music or video clips in their presentation. Any presentations found to violate copyright or publicity rights will not be permitted to advance to the final round. Please ensure that any photos, logos, music, videos, or other media included in your presentation do not infringe upon the copyright or publicity rights of the creator. Consider any famous media or close likenesses to be off-limits. If you wish to use any media to which you do not hold the copyright, you will need to obtain permission from the copyright holder. Presentations containing any copyright infringements will not be permitted to advance to the final round.

The following links provide information about copyright law in Japan

※Agency for Cultural affairs, copyright

<https://www.bunka.go.jp/english/policy/copyright/>

※JASRAC, copyright

<https://www.jasrac.or.jp/ejhp/copyright/index.html>

#### 4. How to Present

- ・Appearance: Presenters may sit or stand. They should also be wearing appropriate attire.

- ・Camera: A camera displaying presenters' face is required. Presenters must orient their camera to include

- ・You can use a virtual background; however, only a plain background or the 'blur' option is acceptable.

- ・ample light.

- ・their face in clear view during the entire presentation.

- ・Microphone: Presenters must be audible, and have a microphone close enough to their face. We strongly recommend that all presenters repeatedly practice their presentations online. Among commercially-available web cameras, visual and audio quality can vary widely, so

please be careful when selecting a product. In particular, we recommend confirming the quality of the microphone, to ensure that the judging panel can hear your presentation clearly.

- **Visual aids:** Visual aids must be delivered via the Zoom “share” function. Presenters should not use a projector to display their visual aids behind them (as in a traditional presentation). Music and video of any kind should not be used.

- **Visual aids:** A common error when using video clips is that the audio will come from the microphone, rather than the video source. If you choose to use a self-made video during your presentation, please confirm how to play the video with the correct audio source.

- Due to the online presentation environment, and difficulties which may arise, presenters should aim to be under 10 minutes.

- The Presentation Contest timekeeper will notify you when you have 1 minute or 30 seconds remaining.

## 5. Advice

- **Style:** Although presentations will be delivered on Zoom, it is still recommended that presenters avoid reading from notes. Effective presenters make good eye contact, with the camera, and connect with the audience. Minimal or no use of notes allows for a much smoother and more natural delivery.

- **Style:** Although presentations will be delivered on Zoom, using hands for gesturing can still be effective to help explain ideas.

- **Location:** Keeping the camera at eye level, not at a high or low angle, will make it easier for judges to see your full expression. Presenters should avoid being too close or too far from the camera; if the presenter’s face occupies about 40% of the height of the frame, that is sufficient.

- **Location:** Avoid unnecessary background noise (open window, animals, etc.)

- **Equipment:** Presenters should test their internet connection, microphone and camera within Zoom before the contest.

- **Equipment:** Presenters may use/wear a headset or earphones to ensure the clarity of their



voice.

## **6. In the event of tech issues**

### Technical confirmation time

·Before the presenter begins, there will be a 1-2 minute period in which all MC, judges and presenters confirm that their equipment is working correctly, connectivity is satisfactory, and all parties can hear/see each other.

### Loss of presenter's connectivity (Zoom client freezing, internet connection dropping)

·In the event of inability to connect to the contest at your scheduled time, contact the Secretariat Office of the 9th Annual All Japan Student English Presentation Contest for options.

·In the event of full internet loss during your presentation, you may attempt to reconnect by any means necessary within 3 minutes.

·There is a 3 minute limit to attempted reconnection. After that time, the Secretariat Office of the 9th Annual All Japan Student English Presentation Contest will decide recourse in the contest. Please contact the Secretariat Office for options.

·Contest management cannot promise presenters will be rescheduled.

### Loss of presenter's camera or microphone (you cannot see/hear others, they cannot see/hear you, bad audio)

·Once the presentation begins, the timer for the presentation should be considered as set.

·In the event of a loss (or freeze) of visual aids during your presentation, the MC will not stop the presentation.

·In the event of issues of this kind, the authority rests with the MC to decide, based on guidelines, how to proceed.

### Loss of MC/judge's camera or microphone, or bad connectivity

·If the issues of camera/microphone/sharing screen happen owing to the host side (not contestants), the presenter may be asked to give the presentation again.

·If the situation happens in the Q&A session, and the questions were not conveyed well to the presenter, the presenter is eligible to ask the MC to check the wifi connectivity with judges. Once the check is done, judges will repeat the question again. In that case, MC can decide how long they can extend the presenter's session.

※This PDF will be updated to include any additional information, so please access the Contest homepage to view the latest version.

Entrants will be notified of the latest information via their registered e-mail address.